



おおづか

oozuka

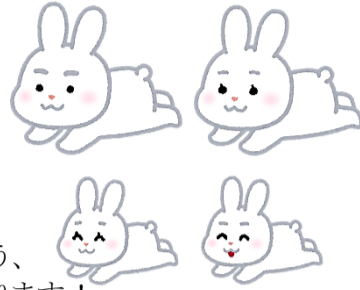
通巻 122 号
令和 5(2023)年 1 月 8 日 発行
※1 月は発行日を変更しています。



ぴよんぴよんと跳ねるうさぎ年

飛躍の一年に

あけましておめでとうございます。新年、うさぎ年のスタートです。
今年の目標はもう立てられましたか。ぴよんぴよんと飛躍する年になるよう、積極的に活動していきましょう。今年も公民館のご利用をお待ちしております！



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下のとおりご理解とご協力をお願いします。

- ・マスク着用、手洗いの徹底や手指の消毒、室内の換気や人と人との距離の確保等の基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・発熱の症状のある方、健康や体調に不安のある方は、ご利用をお控えください。

大塚ふれあいコンサート バレンタインコンサート

日 時◆2月12日(日)
午後1時半～2時半 (開場 午後1時)

対象・定員◆どなたでも 50人(申込順)

出 演◆齋藤 賢一さん(コントラバス)

佐藤 美樹さん(ソプラノ)

品川 彩さん(ピアノ)

プログラム◆アメリカ民謡 峠の我が家

日本の名曲 ふるさと、バラが咲いた 他

持ち物◆ポイント手帳(ある方)

申 込◆1月8日(日)から、電話か来館で



冬の長生きよろず教室

最近足腰が弱くなってきた、今よりもっと元気に過ごしたい・・・。4月から開催している介護予防教室の第4回、最終回です。今回からの参加も大歓迎!!
講座だけでなく、測定会も行います!

日 時◆1月27日(金) 午前9時半～11時半

対象・定員◆関心のある方 40人(申込順)

講 師◆広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター 職員

内 容◆認知症予防について ～認知機能アゲアゲ大作戦～

持ち物◆ポイント手帳(ある方)

※当日は裸足になれる恰好でお越しください。

申 込◆1月8日(日)から、電話か来館で

共 催◆戸山・伴・大塚地域包括支援センター、安佐南区地域支えあい課



グループ会員募集 絵手紙マーガレット

絵手紙のキャッチフレーズは、「ヘタでいい。ヘタがいい。」です。
楽しみながら、四季折々を描いてみましょう。

日 時◆毎月第1水曜日

13:30～15:30

《今年度の活動日》

1月18日、2月1日、

3月1日

会 費◆2か月ごと 2,400円
(講師料・会場代など含む)



第10回大塚公民館まつり 実行委員会 (第1回)

日時◆1月21日(土)
午前10時～正午



書き損じハガキを引き続き、回収しています。
回収したハガキは公民館まつりの運営に活用させていただきます。お持ちの方は公民館窓口、回収箱へお願い致します。

大塚公民館まつり実行委員会
大塚・伴南学区社会福祉協議会

展示

1月7日(土)～1月19日(日)まで
グループ作品展 大塚書友会

1月26日(土)～2月12日(日)まで

安郷土史懇話会
全国に名が知れた
安の目薬 パネル史料展

「安の目薬」は、野村家・原田家・品川家の三家で江戸時代に製造が開始され、戦前には海外でも販売されるなど、安が全国に誇れる目薬でした。ぜひ、「安の目薬」の貴重な史料をその目でお確かめください。



おおづか街歩き

続・大塚村十二景(49)

大塚村の酒造り

その4 初売りの季節と看板酒
～いったい何本うれたのでしょうか?～



小谷家に遺る貴重な「酒看板」です。表に「澄酒」(すみさけ)、裏にも「寿美酒」とあります。
『沼田町史』で紹介されましたが、この度、同家のご厚意により新たにカラー写真で撮影・掲載させていただきました。

「屠蘇の酒 呑めば栄える 命かな(木居)」

酒造りといえば冬の寒い季節を連想しますが、江戸時代は年間を通して季節ごとに特徴ある酒造りが行われていました。旧暦8月頃に出荷される酒は「新酒」と呼ばれ、木居宅では毎年この「新酒」を売っていました。

造り酒屋には、大抵、店を代表する看板酒(銘酒)があります。木居宅の看板酒は「澄酒」という銘柄で、その貴重な「酒看板」が今でも残されています。それが、冒頭の写真です。

さて気になる新酒の売れ行きですが、明治元(1868)年8月31日(新暦)に貴重な記録があります。その日は、あいくの曇り空で夕方からは小雨でした。しかし「酒店は人込みで混雑している。酒買(客)に握り飯を出す。出酒は8石(1升瓶で800本!!)で醤油も1石2斗(同120本)売れた」とあります。「新酒や朝から店は人つとひ」「新酒やよう聞付て買に来る」「新酒や古酒迄つれて売はつむ」

新酒売り出し日に詠んだ木居の句ですが、喜びが伝わってきますね。

この大塚小谷本店の勢いが、明治期の広島中心部への支店進出にも繋がったのでしょうか(次号に続く)。

(参考:宮尾敬三編『白池庵木居 延命録』昭和61(1986)年3月他、資料提供:小谷家)